

試合番号 : 433		試合会場 : 池の川さくらアリーナ				観客数 : 0				
開始時間 : 12:31		終了時間 : 14:56		試合時間 : 02:25		主審 : 内藤 聡美		副審 : 吉岡 奈々		
トヨタ車体クインシーズ		通算 0勝 1敗 ポイント: -		33 第1セット 35		ヴィクトリーナ姫路		通算 1勝 0敗 ポイント: -		
監督コメント	今できる最善を尽くして戦ったが、力及ばず敗戦したことは、今季を象徴する結果でした。選手は全力で頑張りました。より良い状況へ持っていくためには、今から準備が始まります。これから強くなりたいために、再び応援してください。逆境に強く、たくましいトヨタ車体をお見せできるように努力します。たくさんの応援ありがとうございます。			2	25 第2セット 19		3	プレッシャーのかかるこの一戦に向けて、経験値の少ないこのチームが勝つために、選手、スタッフ、フロントの全員がもがき苦しみながら、できる限りの準備をしました。そして、自分たちの力で勝利をたぐりよせてくれたことを本当にうれしく思うとともに、皆に感謝したいと思います。タフなゲームを終えたばかりですが、明日の最終戦で我々が1年間取り組んできたことを出し切りしたいと思います。応援してください。本当にありがとうございました。		
	第1セット、序盤から一進一退の攻防が続く。ヴィクトリーナ姫路は真包、田中のスパイクでリードするが、トヨタ車体クインシーズは荒木のブロックを中心にレシーブで粘りを見せる。両者一歩も譲らず終盤を迎えたが、最後は姫路の真包、田中がスパイクを打ち切り、姫路がセットを先取した。				20 第3セット 25					
	第2セット、トヨタ車体は嶋原、藪田を中心に連続得点を奪い、序盤からリードする。姫路も孫田、真包を中心に攻撃を仕掛けるが、トヨタ車体は荒木、渡邊のブロックで阻む。最後までトヨタ車体がリードを守り、セットを取り返した。				25 第4セット 19					
	第3セット、序盤からラリーゲームが続くが、姫路が田中のスパイクで主導権を握る。トヨタ車体も藪田が攻守に奮起するが、姫路の勢いを止めることができない。終盤も姫路が田中を中心に攻撃を仕掛け、勢いのままセットを取り返した。				10 第5セット 15					
	第4セット、序盤にトヨタ車体は渡邊、荒木のスパイクで点差を広げる。姫路はメンバーチェンジでコートに入ったアリーナが得点し点差を縮めるが、終盤もトヨタ車体は渡邊のブロック、スパイクが冴え渡り、トヨタ車体がセットを取り返した。				最終セット、序盤は姫路が荒谷のスパイクでリードするが、トヨタ車体も渡邊、荒木が躍動し、点差は広がらない。しかし、終盤に姫路が荒谷のブロックや真包のスパイクでリードを奪うと、そのまま逃げ切り大逆転でV1残留を決めた。					

試合番号 : 434		試合会場 : 池の川さくらアリーナ				観客数 : 0				
開始時間 : 15:45		終了時間 : 17:33		試合時間 : 01:48		主審 : 増岡 三佳子		副審 : 澤 達大		
PFUブルーキャッツ		通算 1勝 0敗 ポイント: -		25 第1セット 10		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 0勝 1敗 ポイント: -		
監督コメント	まず選手たちのこの1週間の頑張りを讃えたい。厳しいプレッシャーのなか、良い準備をして試合に臨めたと思う。控室から出ていく選手たちの表情を見るときにリラックスしていたのでゲーム自体は良い入りが出来たと思う。KUROBEの粘りと攻撃を封じられずセットを失ったが、高い集中力を保ちながら戦うことができたと思う。明日の試合に向けて、今からしっかり準備をしたい。画面越しに応援してください。ありがとうございます。			3	22 第2セット 25		1	順位決定戦の一戦目、何としても勝利し、8位から9位を確定させたいところでした。しかし、第1セットからPFUの勢いに押され、思うようなゲームができませんでした。第2セットを取ったものの、最後まで主導権を握られたままの敗戦となりました。明日の試合に向け、気持ちを切り替えたいと思います。		
	レギュラーラウンド10位PFUブルーキャッツと11位KUROBEアクアフェアリーズの対戦。				25 第3セット 15					
	第1セット、PFUはアコスタ、高相の両レフトのスパイクで連続で決まり、スタートダッシュに成功する。KUROBEはリーのバックアタックなどで反撃するが点差は開いていく。PFUは綿引、村上を中心としたブロックも決まり、大差でセットを奪った。				25 第4セット 19					
	第2セットは互いに流れが掴めず、序盤から一進一退の駆け引きになる。中盤以降、PFUが2点のリードを保ち試合が進んだが、KUROBEは細沼のブロックで同点に追い付く。終盤、リーにトスを集めたKUROBEが抜け出し、粘るPFUを振り切りセットを奪った。				第5セット					
	第3セット、KUROBEは舩田、細沼のスパイクで、PFUは志摩、高相のスパイクで得点を重ねる。中盤にPFUは志摩のサーブで突き放しリードする。KUROBEはメンバーチェンジから流れを変えようとするが、PFUは着実に得点しセットを取り返した。				第4セット、後のないKUROBEは立石の粘り強いレシーブからリーがスパイクを決め、勢いに乗る。道下のブロック、サービスエースも決まり流れがKUROBEに傾いたが、高相が意地を見せPFUが追いつく。終盤、村上のサーブ、綿引のブロックで抜け出したPFUがそのまま逃げ切り、勝利を収めた。					

試合番号 : 435		試合会場 : 埼玉県立武道館				観客数 : 399				
開始時間 : 12:30		終了時間 : 14:27		試合時間 : 01:57		主審 : 戸川 太輔		副審 : 本間 明		
埼玉上尾メディックス		通算 1勝 0敗 ポイント: -		25 第1セット 23		日立リヴァーレ		通算 0勝 1敗 ポイント: -		
監督コメント	先週の4強入りを目前にして5位から8位決定戦にまわりモチベーションの難しい試合を想定しましたが、自分達からリズムを崩してしまい、戦術がうまく機能しない時間帯が続いてしまいました。しかし、その中で選手達が順応し、勝利への突破口を開いてくれました。明日に向けて評価点と課題点が明確になったので整理して、戦術を組んでいきます。明日の対戦相手は、レギュラーラウンド1勝1敗の相手でタフな試合になることが想定されます。土日の連戦で疲労も出てくると思いますが、選手、スタッフ、応援してくれるファン皆さん全員で身体と心をハードワークさせましょう。最終戦、応援よろしくお願ひします。			3	21 第2セット 25		1	今週2戦は力を出し切り何としても勝つて5位を狙うチャンスをつかむべく全員で気持ちを作って挑みます。しかし、第2セットを巻き返すも、第3セット終盤で崩れてしまい非常に悔しい結果となりました。レギュラーラウンドで得た課題や反省点を活かしきれず、今日も大事な場面で崩れて流れをつかめませんでした。まだ明日の1戦で7位へ上がるチャンスがあるので、気持ちを切り替えて明日に臨みます。明日もご声援の程、よろしくお願ひいたします。		
	V・レギュラーラウンド5位の埼玉上尾メディックスと、8位の日立リヴァーレの一戦。				26 第3セット 24					
	第1セット、序盤、埼玉上尾は内瀬戸、ジョセフを中心に攻めリードする。中盤、日立はタップ、オクム大庭の攻撃、上坂のブロックで追いつくが、埼玉上尾は吉野、ジョセフの攻撃で再びリードをする。終盤、日立は窪田と長内の交代でリズムを変え流れを掴むと、野中、入澤の連続ブロックで追いつく。最後は埼玉上尾がジョセフの高打点からのアタックでセットを先取した。				25 第4セット 14					
	第2セット、日立は序盤から野中、オクム大庭の攻撃、上坂、タップのサービスエースでスタートダッシュに成功する。埼玉上尾は岩澤、大室のリリーフサーバー起用から流れを変え終盤で追いついた。終盤、日立は交代で入った長内が連続でアタックを決めセットを取り返した。				第5セット					
	第3セット、勢いに乗る日立は入澤の連続ブロックや野中、上坂の攻撃、埼玉上尾は青柳、サンティアゴの攻撃で、一進一退の攻防が続く。最後は埼玉上尾がサンティアゴの連続ブロックポイントでセットを取り返した。				第4セット、序盤から埼玉上尾は前セットの勢いのままにジョセフ、青柳の攻撃でリードした。一方、日立は上坂、オクム大庭の攻撃で応戦し、リベロ小池、齋藤の粘り強いレシーブで長いラリーに持ち込むが、埼玉上尾は吉野、内瀬戸の巧みな攻撃を決めセットを連取し、勝利を収めた。					

試合番号 : 436		試合会場 : 埼玉県立武道館				観客数 : 507				
開始時間 : 15:30		終了時間 : 16:55		試合時間 : 01:25		主審 : 浅井 唯由		副審 : 津嶋 由香		
岡山シーガルズ		通算 1勝 0敗 ポイント: -		25 第1セット 17		久光スプリングス		通算 0勝 1敗 ポイント: -		
監督コメント	V・レギュラーラウンド後半の反省を一人一人が自覚し、一球一球に気持ちや思いをつなげる空気がコートにメンバーに出ていたように思う。明日の5位決定戦は悔いの残ることなく、来シーズンにつなげるゲームを展開したい。速方より、また、規制のある中、多くのファンの方々の後押しに支えられ非常に力になりました。ありがとうございます。明日も引き続き、よろしくお願ひします。			3	25 第2セット 19		0	Vリーグ最終週、長いリーグの中で様々な状況を経験してきた。結果は一人として満足していないが、最後の二戦で最後まで戦い抜こうと挑んだ対戦であった。試合は自分達のリズムがつかめず、相手チームのペースで試合が進み、苦しい内容となってしまったのが敗因である。明日はこのメンバーでできる最後の戦となる。どんな状況でも応援して下さるファンの皆様や支えて下さる全ての方々のために、最後の戦を戦いたいと思う。たくさんの応援ありがとうございます。		
	V・レギュラーラウンド6位の岡山シーガルズと、7位の久光スプリングスの最終順位決定戦。V・レギュラーラウンドの勝敗は1勝1敗と今シーズン五角と楽しみな1戦となった。				25 第3セット 19					
	第1セット、静かな立上がり、岡山は金田、久光は石井のスパイクで得点を重ねていく。岡山のレシーブが良く中盤の長いラリーを制し得点するなど徐々に点差を広げ、セットを先取した。				第4セット					
	第2セット、久光のアキラデウオと井上(愛)の強烈なスパイクを岡山のリベロ丸山と檜嶋がレシーブをし、岡山に流れを呼び込んだ。終盤には岡山・金田がスパイクを決めセットを連取した。				第5セット					
	第3セット、序盤から岡山・金田のスパイクが次々と決まり、序盤に5点差をつける。久光もアキラデウオや石井のスパイクで対抗し得点した。しかし最大7点差を縮めることは難しく、岡山がストレートで勝利し、明日の5位決定戦に駒を進めた。									

試合番号 : 437		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 829	
開始時間 : 12:30		終了時間 : 13:52		試合時間 : 01:22		主審 : 江下 毅	
副審 : 明井 寿枝		通算		1勝 0敗		ポイント : -	
東レアローズ		3		0		デンソーエアリービーズ	
監督コメント		絶対には負けない中、チーム全員で1つになって戦えるよう準備してきました。サーブで相手を崩しながらも、なかなかブレイクできない場面もあり、我慢することも多かったのですが、サイドアウトをしっかり取って、得点を重ねることができました。明日の決勝も、チーム全員でしっかり準備していきたいです。本日もたくさんの方の応援をいただきありがとうございました。		25 第1セット 16		監督コメント	
				25 第2セット 23		今日の試合が開催できることに感謝いたします。序盤で相手のサーブに押されて、リズムを作ることができませんでした。	
				25 第3セット 20		第2セットからはサーブが機能して、ブロックとディフェンスの関係性が良くなりました。	
				第4セット		しかし、最後を決めること、ボールを繋ぐことをやり切ることができなかったため、気持ちを切り替えて、明日の3位決定戦で勝てるように準備をします。	
				第5セット		ありがとうございます。	
要約レポート							
レギュラーラウンドを全勝した東レアローズと、4位のデンソーエアリービーズのセミファイナル。第1セット、デンソーは工藤の敢攻織り交ぜたスパイクでライト側から点数を重ねる。東は得点玉のクラシに頼らず、セッター間は様々なスパイクカーにトスを散らし、中盤からリードを広げる。デンソーはワンタッチはとれるものの、ブロックでの得点はできず、東はブロックで4得点をあげ、デンソーの攻撃を封じた。第2セット、デンソーはブライマーを中心に攻撃を組み立てる。新人の横田の2連続サービスエースで一歩抜け出す。リードを許した東はクラシにボールを集め得点していき、黒後のスパイクで追いつき、石川のブロックで逆転する。東はリードのまま迎えた終盤、デンソーの奥村が値千金のサービスエースを決め23-23と追いつくが、勝負強い石川のスパイクで東がセットを連取した。第3セット、後が無くなったデンソーはセッターに松井を起用し、攻め方を変える。しかし東は揺らぐことなく、大野、小川の両ミドルブロッカーと、黒後が高い決定力を保ち、リベロの水杉は強打、軟打を拾い、途中出場の白井はサービスエースを決め、コートに入る選手全員が各々の役割を全うし、デンソーに付け入る隙を与えなかった。前回の対戦ではフルセットの激闘を辛くも勝利した東だったが、開幕から負けなしの強さを存分に見せつけ、明日のファイナルに弾みをつけた。							

試合番号 : 438		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 1,116	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:21		試合時間 : 02:21		主審 : 山本 晋五	
副審 : 原 啓之		通算		1勝 0敗		ポイント : -	
JTマーヴェラス		3		2		NECレッドロケッツ	
監督コメント		V・ファイナルステージ、私達はどんな時も自分達と向き合い、信じて今日の日の迎えた。常にチャレンジャーとしてNECに挑み、強いメンタルを持って戦った結果、セットカウント3-2での勝利に繋がった。明日のファイナルはJTマーヴェラスに関わっている全ての方々と応援して下さる皆さんと共に戦っている気持ちで良い準備をしています。本日はありがとうございました。		29 第1セット 27		監督コメント	
				25 第2セット 21		悔しいという言葉しか出てきません。中盤にネリマンの離脱というハプニングがありましたが、選手達はそこで勢いを落とすことなく戦い抜いてくれました。	
				23 第3セット 25		自分達の積み上げてきたものは間違っていないので、明日もう一度自分達の良いバレーをして、リーグ戦ラストを勝って終えたいと思います。	
				15 第4セット 25		私達にとってはホームの体育館ということもあり、本当にたくさんのお客様に駆けつけてもらい、ハリセンでの心強い応援にすこす助けられました。	
				15 第5セット 12		明日がリーグ戦ラストの試合になりますので、一緒に戦ってください。よろしくお祈りします。	
要約レポート							
第1セット、JTマーヴェラスは芥川のサーブから4点のリードを奪い、ドルーズのアタックなどで主導権を握った。NECレッドロケッツもネリマンのアタック、山田のブロックなどで反撃し、その後も古賀、曾我の活躍で中盤に追いつくことに成功。しかし、最後はJTのタツタオのブロックが決まり、追いつくNECを退けた。第2セット、波に乗るJTが主導権を握った。中盤に入りNECはブロックで点差を縮め、その後もじりじりとそ追いつき、追いつくことに成功した。終盤に入ると、JTドルーズの活躍が光り、最後は林のアタックが決まり、セットを連取した。第3セット、後のないNECは中盤に入り、廣瀬、川上の活躍でJTを脅かす。また、終盤に古賀のサーブからリードを奪い、白熱したゲーム展開となった。NECは廣瀬のブロックで24点目を奪い、最後はJTのミスを探いNECがセットを取り返した。第4セット、リズムを掴んだNECがリードを保ったまま、中盤へとゲームを進めた。JTは流れを変えようとヒックマンを投入したが、NECの勢いは止まらず、島村や曾我の活躍でリードを保ったままこのセットを手に入れた。第5セット、勝敗を決める最後のセット。どちらも譲らず中盤へと向かった。流れを変えようとJTは橋井を投入。JTはボールをドルーズに集め、とことんNECを追い込み得点を重ね、最後は田中のアタックが決まり勝利した。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット		監督コメント	
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							